

函館市地域公共交通協議会 令和6年度第4回総会会議録

開催日時	令和6年8月22日（木） 14時00分～15時00分
開催場所	函館市役所 8階大会議室
議 題	<p>(1) 函館市西部地区A I デマンド交通実証運行について</p> <p>(2) 函館バス株式会社におけるバス路線の系統廃止および路線廃止について</p> <p>(3) その他</p>
出席者	<p>協議会委員 (計 18名) 奥平委員, 中小路委員, 横田委員, 岩橋委員, 今村委員, 大岩委員, 高村委員, 佐々木委員, 石崎委員, 酒井委員, 大原委員, 渡邊委員, 春山委員, 榎本委員, 廣瀬委員, 久保田委員, 池田委員, 兼古委員 (北海道警察 函館方面 函館西警察署 坪田係長代理出席)</p> <p>報道関係 (計 3社)</p> <p>傍聴者 (計 3名)</p>
欠席者	<p>協議会委員 (計 6名) 西村委員, 森委員, 渡部委員, 呉委員, 柴田委員, 池田委員</p>
事務局の出席者の職氏名	<p>函館市企画部計画推進室交通政策課長 渡辺 大輝 函館市企画部計画推進室交通政策課主査 井本 大士 函館市企画部計画推進室交通政策課主任主事 佐々木 健人</p>

1 開 会 【事務局／井本主査】

2 議 題

(1) 函館市西部地区A I デマンド交通実証運行について

【奥平会長】

- ・ 議題（1）の、「函館市西部地区A I デマンド交通実証運行について」、事務局から説明をお願いします

【事務局／渡辺課長】

- ・ （資料1-1, 1-2に基づき説明）

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問・意見等はないか。

<質疑なし>

【奥平会長】

- ・ 特に意見がないようなので、本件について承認するという事によろしいか。

<異議なし>

【奥平会長】

- ・ それでは本議案を承認する。

(2) 函館バス株式会社におけるバス路線の系統廃止および路線廃止について

【奥平会長】

- ・ 議題（2）の「函館バス株式会社におけるバス路線の系統廃止および路線廃止について」、函館バス株式会社から説明をお願いします。

【議題関係者／函館バス株式会社】

- ・ （資料2に基づき説明）

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問・意見等はないか。

【横田委員／一般社団法人 函館地区ハイヤー協会】

- ・ 9 1 F 系統について、系統廃止後に当地域は交通空白地となるのか。その場合、代替路線等はあるのか。

【議題関係者／函館バス株式会社】

- ・ 函館から恵山御崎間は他にも路線が 1 4 便ほど運行しているため、交通空白地には該当しない。

【奥平会長】

- ・ 他に意見がないようなので、本件について承認するという事によろしいか。

<異議なし>

【奥平会長】

- ・ それでは本議案を承認する。

(3) その他

【奥平会長】

- ・ 私から一つよろしいでしょうか。
最近、函館市は観光客が非常に増えており、とうとうオーバーツーリズム状態なのではないかと報道されることがあるが、実態として、交通事業者がどのように感じ、どのように対応しているのかについて、お話いただけないか。
まず初めに、北海道旅客鉄道株式会社の岩橋委員、お願いできるか。

【岩橋委員／北海道旅客鉄道株式会社】

- ・ 鉄道に関しては、おかげ様で、インバウンドを含め、乗客が増えている。
- ・ ただし、車両に乗り切れないとかいうことはない。現在、特急列車については指定席で乗車いただくが、席からあふれることなく乗車できている。

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。
続いて、ハイヤー協会はいかがか。

【山本専務理事／一般社団法人 函館地区ハイヤー協会】

- ・ タクシーが不足しているということはないが、函館山のロープウェイで、行きはバスに乗車できるが、帰りはバスが 2 0 2 4 年問題の影響で確保できず、旅行者自身で何とか移動手段を確保してもらう状況にあった。これに対

し、当会と函館市観光部・函館山ロープウェイが話をし、ロープウェイの隣にある市有駐車場のバスレーンを借りて対応している状態。

【渡邊副会長】

- ・ それは、貸し切りバスの運転手がないということか。

【山本専務理事／一般社団法人 函館地区ハイヤー協会】

- ・ その通り。最も多い利用者は台湾人だが、30名ほどの団体を、7～8台ほどのタクシーで、ロープウェイから宿泊先まで輸送しているという状態が続いている。

【渡邊副会長】

- ・ 夏休みや、お盆期間のように、通常と違う時期に混雑するものと思うが、いかがか。

【山本専務理事／一般社団法人 函館地区ハイヤー協会】

- ・ おっしゃるとおり、7月末くらいから8月のお盆時期まで混雑していたが、現在はバス事業者も少しずつ対応いただきながら、タクシーも対応しているという状態。

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。
続いて、道南いさりび鉄道株式会社の今村委員、お願いできるか。

【今村委員／道南いさりび鉄道株式会社】

- ・ 昨年度に比べ、定期外の観光利用客は確かに増えているが、驚くほどではない。観光列車は評判がよく、運行する度に日本全国、福岡県などからも利用客が来る。また、定路でも、今年の夏まつり・花火大会の時は、多くの利用客があった。しかし、オーバーツーリズムにつながる状況には至っていない。

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。
続いて、函館市企業局交通部の廣瀬委員、お願いできるか。

【廣瀬委員／函館市企業局交通部】

- ・ 市電の利用状況について、速報値では7月で、コロナ以前まで乗客数が戻った。8月は混雑が続いているが、コロナ前から運行数を10%落としたままである。乗務員が退職しても不補充ということで、減便を続けてきたが、現在は新しく運転手を採用し、免許取得のための教習中である。無事に修了

すれば、11月から欠員状態が解消できる。

- ・現状の混雑への対応状況として、日中については、函館駅前の電停で、ホームから人があふれる状態が時折見受けられる。それに対しては、内勤者が現場へ出向き、ホームに詰めた状態で待機いただくよう誘導している。また、電車が定刻通り走っていれば、1台毎に待機客もほぼ乗車できている。なお、函館駅前電停は降車客も多く、降車客と乗車客がホーム上で交錯することもある。
- ・先日、新聞に写真が掲載され、日常的に電停から人があふれているのではないかと受け止められているが、その時の写真は、青信号で横断歩道に向かって歩いているものだった。確かに、瞬間的にそのような状態はあるかもしれないが、当部としては、コロナ前の状態に戻ってきたと冷静にとらえているものの、乗客の安全確保のためには、内勤者で停留所での誘導対応を行っていく。
- ・また、夜間の十字街電停は、函館山から下りて来る方たちであふれている。20時以降、十字街発の電車は15分～20分ほど間隔があくため、待機者で停留場があふれるという状況になっている。現在は、夜間に臨時便を増便しており、乗り残しがいない状態を確認できている。夏休み期間の8月中はこの状態が続くと思っているため、臨時便や停留場の案内要員は確保している。9月に入った後も、週末は同様に対応できるよう準備しているが、乗客が増えるようならば、適宜体制を継続していく予定である。

【奥平会長】

- ・ありがとうございます。
最後に、函館バス株式会社から、お話いただけるものはあるか。

【議題関係者／函館バス株式会社】

- ・当社においては、登山バスが該当すると思う。現在、通常運行プラス臨時便を運行している。待機時に混雑はしているが、バスがくればすぐに解消するため、企業局と同じような認識である。
- ・引き続き、市の観光部や土木部、企業局、ロープウェイと協力しながら対応していきたい。

【奥平会長】

- ・ありがとうございます。オーバーツーリズムになりかかっているが、事業者の皆様への対応でうまくクリアできているのかなと理解できた。まだまだ観光シーズンは続くため、注視しなければならない。
- ・また、市民に影響を及ぼしてくると、定義上のオーバーツーリズムに該当してしまうが、その瀬戸際で踏ん張っている状態と思う。市民の皆様も、自衛策を考えているようで、例えば十字街電停は混雑することから、一つ二つ

前の電停へ流れ、そこから乗車することに慣れていつている。そういったところが観光地の特徴でもあると思う。

- ・ 交通事業者の皆様，ありがとうございました。
- ・ その他，皆様から何かあるか。

<発言者なし>

【奥平会長】

- ・ 事務局から何かあるか。

【事務局／井本主査】

- ・ 次回総会については，日程が近づいたら改めてご案内する。

【奥平会長】

- ・ 他になければ，これで予定した議事をすべて終了したので，進行を事務局にお返しする。

3 閉 会 【事務局／井本主査】